

京都府の地震活動

令和5年（2023年）3月

第36巻第3号

京都地方気象台

目次

震央分布図、概況	・・・1
震央分布図、断面図	・・・2
「京都府の地震活動」掲載の震度分布図について	・・・3

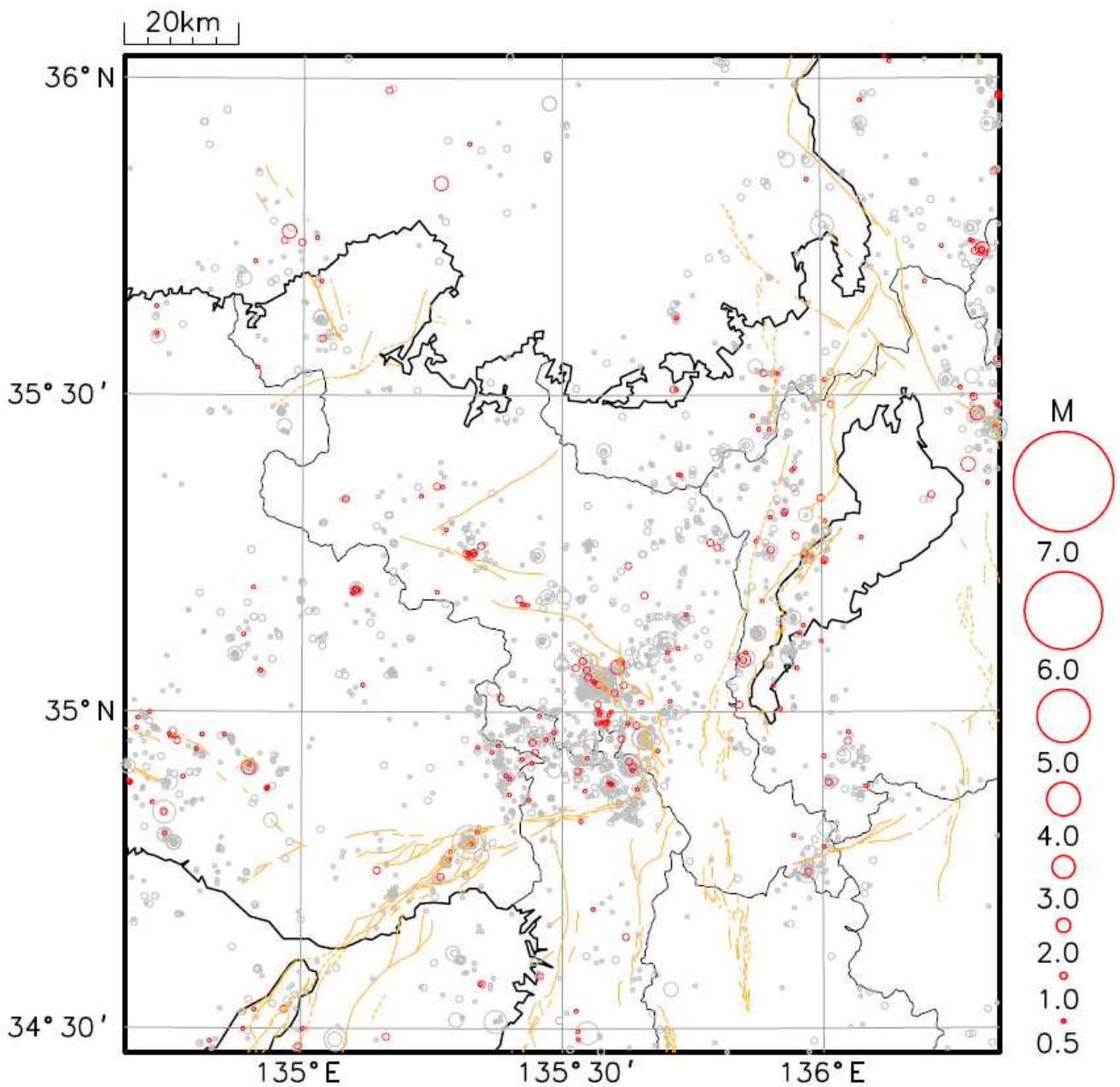
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



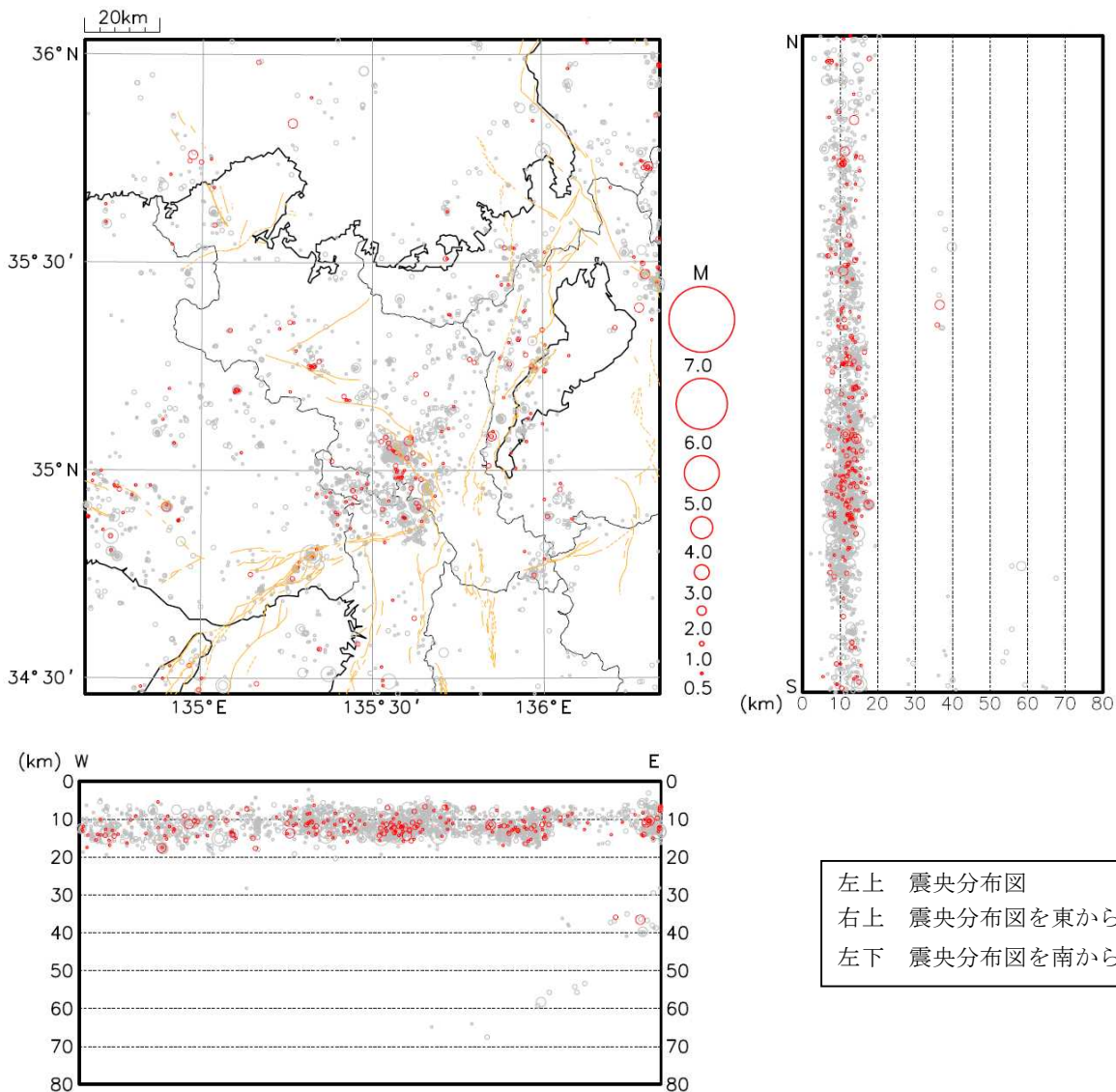
- ・（2022年4月1日～2023年3月31日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ ）
- ・2023年3月の地震を赤く表示（総数221）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）、最大震度及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。
- ・オレンジ色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

概況

3月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は8回、震度1以上の揺れを観測した地震はありませんでした（2月はそれぞれ4回、1回）。

3月中、京都府内で震度1以上を観測した地震はありませんでした（2月は0回）。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・（2022年4月1日～2023年3月31日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ ）
- ・2023年3月の地震を赤く表示（総数221）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）、最大震度を付記。
- ・橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

【地震一口メモ】

「京都府の地震活動」掲載の震度分布図について

「京都府の地震活動」に掲載している※「震度分布図」について説明します。

地震動の強さを表す指標の1つに震度があり、以前は体感で震度観測を行っていましたが、現在は震度計という器械を使い観測しています。地震動による揺れの大きさの指標となる気象庁の震度階級は、「震度0」「震度1」「震度2」「震度3」「震度4」「震度5弱」「震度5強」「震度6弱」「震度6強」「震度7」の10階級であり、震度計で観測した震度階級を地図上に記載した図を震度分布図と言います。なお、『京都府の地震活動』に掲載している震度分布図では、震度5弱を5-、5強を5+、6弱を6-、6強を6+で表現しており、地域別、観測点別の2種類の図を使用、震度を観測した観測点の数により使い分け、分かりやすい図となるよう作成しています。

地域震度分布図は、比較的大きな地震が発生し、震度を観測した地点が多い場合に広域に震度分布を見るために使用します。京都府では、京都府北部と京都府南部に分け地域の最大震度で表現します（数字の場所は概ね地域の中心）。2018年の大阪府北部の地震では、京都府北部の地域震度は4、京都府南部の地域震度は5強でした（上図）。また、観測点震度分布図は、地図内における震度計で震度1以上を観測した観測点すべての震度を記載します。このため、2018年の大阪府北部の地震のように比較的大きな地震の場合は、広域の震度分布図を表現する地域震度分布図（上図）と、京都府内を拡大した観測点震度分布図（下図）とを組み合わせ掲載しています。

※今月（3月）号では、3月中に京都府内で震度1以上を観測する地震は発生しなかったため、震度分布図は掲載していません。

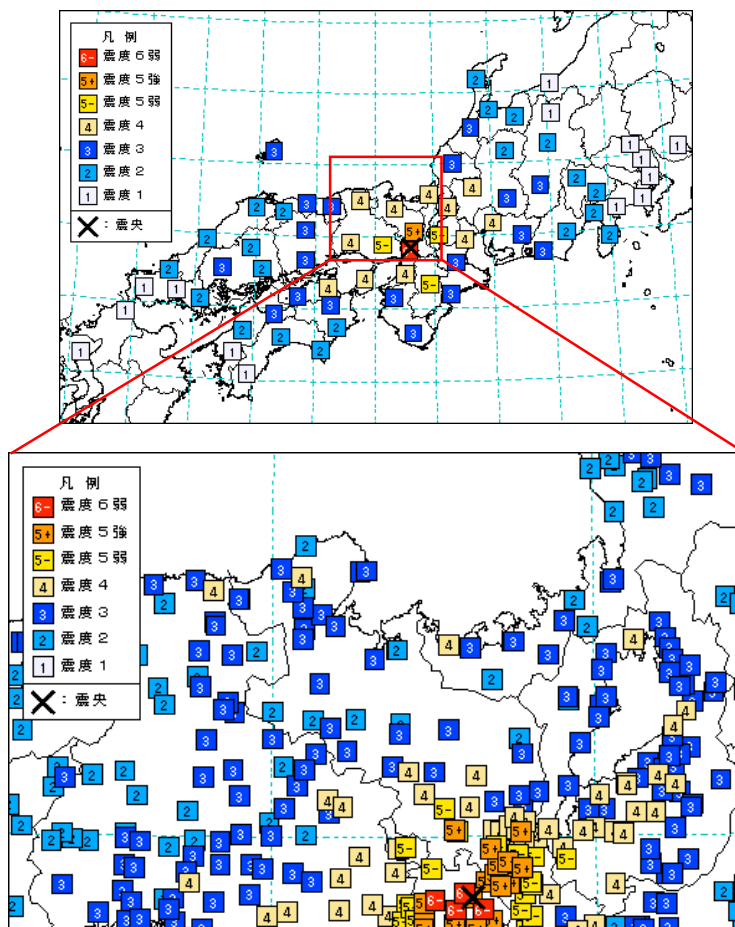


図 震度分布図（上：地域震度分布図。下：観測点震度分布図）

（2018年6月18日「大阪府北部の地震」の例）

※説明のため、資料に掲載している震度分布図の一部を加工

気象庁ホームページ「震度について」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/index.html>

気象庁ホームページ「震度と加速度」

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/kyoshin/kaisetsu/comp.html>

気象庁ホームページ「緊急地震速報や震度情報で用いる区域の名称」

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/shindo-name.html>

京都地方気象台ホームページ「京都府内の観測所（アメダス含む）」

https://www.data.jma.go.jp/kyoto/3_known/observatory/index.html